

歩行者のため安全な道路行政を

あさみ美子(公明党)
歩行者のためのカーブミラー、街路灯の設置。危険な通学路に路側帯のカラー化の導入。さらに市民が道路の破損箇所をメールで通報できるシステムの導入を求め、建設部長 カブミラーは、今後必要箇所を調査の上、設置していききたい。街路灯は、照度が確保できないところに設置したい。道路情報通報システムは、導入に向けて検討を進めたい。カラー舗装は、交通量等を検討し、進めていくことになると思います。災害時に備え市の施設に防災コーナを設け家具転倒防止等の普及を。さらに、FM町田設立について問う。岩崎助役 庁内公共施設すべてについて、置ける場所について早急に検討に入ります。防災対策担当 岩崎助役 FM局の可能性について再度各方面に研究をお願いしたい。



カラー舗装された路側帯(町高通り)

ワーキングプアをなくすため

殿村健一(日本共産党)
ワーキングプア、貧困と格差をなくすため、雇用の確保など市民生活を守るべきだがどうか。町田助役 雇用の問題については、関係機関との連携を一層密にしていきたい。市長の政治資金パーティー事件の事実と市長の関与、政治責任を改めて問う。市長 横浜市側からのメールに、何の返事もなかった。

認定こども園について

齋藤祐貴(民主党)
認定こども園の意向調査の結果状況は。岩崎助役 意向調査は、東京都が一月に実施しました。回答をみると、実施を考えている幼稚園、保育園がある一方で、制度の詳細がよくわからないことから判断できない。町田における取り組み 岩崎助役 東京都では、東

新ごみ焼却施設の将来展望は

川畑一隆(公明党)
新ごみ焼却施設の将来展望及びごみ収集に対する民間委託や職員の配置計画・身の保障等の取り組みは。市長 新焼却施設について、市民会議の議論や、もつと広くいろいろなところからの意見、議論も含めてどういう方向でいくのか決めていきたい。岩崎助役 二〇〇七年度から一部地域の収集委託に向け検討を進めています。身分保

よのなか科の積極的導入を

新井克尚(民主党)
中学校教育によのなか科を積極的に導入すべき。教育長 小中一貫教育カリキュラムを考えていく上で、よのなか科で扱っている教材や学習内容で参考になるものがあれば参考にしていきたい。町田助役 今後、さらには調査範囲を広げるなど、引き続き調査を強化していきます。町田助役 今後、さらには調査範囲を広げるなど、引き続き調査を強化していきます。町田助役 今後、さらには調査範囲を広げるなど、引き続き調査を強化していきます。

小野路宿通り里山/村誌復刻へ

市川勝斗(まちなか新世紀)
歴史環境保全地域である小野路宿通り里山の今後の方向性について。町田助役 今後、歴史景観の再生の取り組みと、市所有地の有効活用のための宿通り周辺地域整備計画を作成し、良好な町並み保全に努めます。村誌町史は町田の歴史を語る貴重な資料であるが、その復刻版の発行について、教育長 地元や市民による

東京国体と相原の交通アクセス

金子ひろし(まちなか新世紀)
国体のもたらす効果について、また、そのかわりについて。市長 全国発信のよい機会です。観光、その他の政策にとつて重要な機会になるだろうと思っております。財政とのバランスも考慮しなければなりません。岩崎助役 必要であれば施設整備にも努力していきたい。町田助役 子どもセンターの安全確保について。

町田の福祉と団地の諸問題

今村の(民主党)
町田の福祉の基本は「障害」のある子を持つ親と地域市民と行政が「共に」創ることから始まったことを忘れてはならない。市長 福祉に限らず、ともに生きる、ともに支え合うというのが、この地域のみならず、この国の共通理念として広くお互いが持ち得るといっていいと思います。町田助役 市内の団地では老朽化

小山片所谷戸の緑地保全

佐藤伸一郎(まちなか新世紀)
小山片所谷戸に残された最後の谷戸である片所谷戸の緑地保全について問う。市長 都市緑地法の規定におよそ該当する土地ではないかと思えます。地元の熱意は感じていますので、できるだけ前向きに物事が進められるように努力していきたい。公共下水道の面整備において目標年度に達成するよう計画をしっかりと管理されたいかどうか。建設担当部長 今後は環境・産業部とも調整をとり、チップ化後の利用方法を検討、確認して進めていきたい。



小山片所谷戸の緑地

用語の解説

本文中の青文字の解説です

- QRコード 【2面】 2次元コードの一種。バーコードが進化したもので、より多くの情報を記録できる。読み取り機能の搭載された携帯電話でQRコードを撮影すると、簡単にサイトにアクセスできたり、連絡先をアドレス帳に登録できたりする。
フィルム・コミッション 【2面】 映画、テレビドラマ、CMなど地域のロケーション撮影に関する相談を受け付ける窓口。日本では、自治体や商工会議所などの公的機関がフィルム・コミッション事業を行っており、地域の経済・観光振興、文化振興に大きな効果がある。
ピンクリボン活動 【3面】 乳がんの早期発見、早期治療を推進する活動。行政、市民団体、企業などが乳がんの早期発見を啓発するためのイベントを開催したり、ピンクリボンをあしらった商品やグッズを販売して収益を研究団体に寄付したり、運動が積極的に行われている。

傍聴を希望される方は市役所五階の

義勇隊やボランティア

本会議のインターネット放映を行っています。